



CMMMA Colloquium

第35回 現象数理学コロキウム

35

界面の動的挙動と 化粧品技術



講演者：慶應義塾大学 朝倉浩一
Kouichi ASAKURA

2018年 6月 20日(水)

17:30~18:30

会場：明治大学 中野キャンパス
高層棟6階 セミナー室3

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。

明治大学先端数理科学インスティテュート

文部科学省 共同利用・共同研究拠点
現象数理学研究拠点



Abstract:

スピノーダルディウェッティング、ヴィスコスフィンガリング、マランゴニ収縮、これらは、いずれも平衡から遠く離れた条件下において自発的に発生する界面の動的挙動です。そして、これら現象を数理学の立場から理論的に考察する研究も活発におこなわれています。

さて、化粧品はそれぞれの使用の場面において、薄層状態への延伸、溶媒の揮発、水との接触など、多種多様な平衡から遠く離れた条件下にさらされることとなります。したがって、その使用の場面までも考慮した化粧品技術においては、界面に自発的に動的挙動が発生する可能性があることを認識し、さらにその動的挙動を制御する技術を開発することは、かなり重要であるはずですが。ここでは、化粧品技術の中でも、特にサンスクリーン剤の開発ならびにその性能評価において、系が平衡から遠く離れることで発生する界面の動的挙動が関与する例をご紹介します。

■連絡先

東京都中野区中野 4-21-1 明治大学中野キャンパス 8階
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail : mims@mics.meiji.ac.jp